

Q 安全=安心ですか？



“安心”とは、ただ安全であることではなく、
「自分のままでいられる」と感じられること。

できないことよりも、できることを信じてもらえる。そんな関係性
の中でこそ、人は自分らしさを取り戻していけると考えています。

A できる力を奪わない。

私たちは“おもてなし”はしません。
むしろ頼りにし合える関係を築きたい。

利用してくださっているメンバーの方をもてなすことはしません。
ともにあることを大切に。いつも頼り、仲間として関わります。



MISSION

自分らしく生きる“日々”を共に作る

「任せる」はその人の力を信じる
「応援の形」

「任せる」は、責任を手放すことではありません。認知症の人が、人や社会とつながりながら自分らしく過ごせる日々をつくる。ケアの現場と地域社会をつなぐハブとして、関わりをひろき、共に歩む関係を育てていきます。

VISION

関わるすべてにハピネスを
できることを信じてもらえる安心

頼り合える関係。一緒に挑戦し、喜びを分かち合える日々。その積み重ねが、メンバーにも家族にも職員にも地域の人も、「出会えてよかった」と思えるハピネスを生み出す。

VALUE

関係を育て、共に歩む

“「友」は最高の褒め言葉”



立場をこえて、共に笑い、共に歩む。
そこには「支援」ではなく「関係」が生まれる。

外に出ないなんてもったいない！

外に出ることはリスクではなく、関わる力を取り戻すこと。
マルシェの出店やイベントの企画、地域の方との交流など、
「できる力」を埋もれさせず、認知症の人と共に社会へ、
一歩踏み出しています。

利用者も職員も“メンバー”

“支える人”と“支えられる人”の隔てなく、全て人生で出会ったよき仲間。
“それが、HiBi8が作りみたい“関係のかたち”です。

● 行動基準 | 私たちが大切にしている姿勢



“知る”

- 表面的な行動だけでなく「なぜそうしているのか」に目を向ける
- 自分や相手の得意や苦手を分かち合う
- どう過ごしたいかを大切に

“任せる”

- 「危ないからやめる」「できない」と、思い込まずこれでもできるかも？とチャレンジする
- 手を出しすぎず、見守る勇気を持つ

“共に楽しむ”

- 失敗も何気ない会話も共に笑い合える
- どんなことも、ともに楽しみとにもとりくむ

“分かち合う”

- 喜びもつらさも、関わるみんなで分かち合う
- 一緒に安心して悩んで考えられる関係を育む

「自分らしく生きている」状態とは

自分の好きなこと・得意なことを、日々の中で活かしている
できないことがあっても、周りに理解され、支え合っている
誰かのために役に立つ喜びを感じている
苦手も得意も、笑って話し合える関係がある
周囲に頼ったり、頼られたりしながら過ごしている
無理をせず、自分のペースで選りながら過ごしている
自分の存在を「必要とされている」と感じられる
認知症であっても、“自分は自分である”と感じられる